

ける態度。

必要はないが、高等学校の教員については、7教育事務所別に分類した。

## 5. アンケート(1)ほ集計と考察

アンケート調査は、当センター第3研修部の電子計算機を使用し、集計・計算を行った。

### ① 調査対象者の種別

調査対象者の種別は、下表1に示されるように小学校教員が48%と圧倒的に多かった。これは当センターの講座編成の都合上、小学校関係の講座が年度の前半に集中していることと、調査の時期が5月～11月であったことが重なったためである。

しかし、このことは、逆に小学校の先生がたの教育相談についての考えを、より深く知ることができる結果となった。

学校所在地別については、特段の説明を加える

表1. 調査対象者の種別

種 別	人数 (%)
小 学 校 教 員	335 (48)
中 学 校 教 員	132 (19)
高 等 学 校 教 員	120 (17)
特 殊 学 校 教 員	9 (1)
公 立 幼 稚 園 主 任 教 員	64 (9)
女 子 大 学 生	40 (6)
計	700 (100)

### ② 調査対象者の学校所在地別

表2 調査対象者の学校所在地別

学校所在地別	人数 (%)
県 北	136 (19)
県 中	126 (10)
県 南	66 (9)
会 津	140 (20)
南 会 津	29 (4)
い わ き	102 (15)
相 双	61 (9)
女 子 大 生	40 (6)
計	700 (100)

### ③ 調査対象者の職名および年齢区分別

表3. 調査対象者の職名

職 名	人数 (%)
校 長	72 (10)
教 頭	7 (1)
教 諭	564 (81)
養 護 教 諭	17 (2)
学 生	40 (6)
計	700 (100)

表4. 調査対象者の年齢区分

年 齢	男 (%)	女 (%)	計 (%)
～ 25	13 (3)	42 (14)	55 (8)
26 ～ 30	54 (13)	48 (16)	102 (15)
31 ～ 35	43 (11)	36 (12)	79 (11)
36 ～ 40	61 (15)	29 (10)	90 (13)
41 ～ 45	70 (18)	37 (12)	107 (15)
46 ～ 50	81 (20)	51 (8)	132 (19)
51 ～ 55	62 (16)	16 (5)	78 (11)
56 ～	17 (4)	0 (0)	17 (2)
学 生	0 (0)	40 (13)	40 (6)
合 計	401 (100)	299 (100)	700 (100)

表3の対象者の職名については、教諭が最も多く、教頭が最も少くない。したがって、今回の研究では教頭研修会などの利用を考えてみたい。

表4の年齢区分については、46～50歳が最も多く、次に26～30歳、41～45歳がこれに次いでいる。このことは、当センターの教員研修計画に関係することが大きかったためである。したがって、各層の数多くの先生方の考えを調査し、より正確な分析と考察を加えるためには、これまた今後の追試を待たねばならない。しかし、今回の研究は、一応研究期間などの制約があるので、今回得たままの調査結果から分析と考察を加えることにした。